

無限の可能性

競書会

令和6年度第1学年通信
令和6年10月30日

10月21日（月）に競書会が行われました。

国語の授業では、真剣に最後までがんばろうとする姿や、とめやはねまで意識して、書き終わるまで集中して取り組んでいる様子がうかがえました。本番では、限られた時間の中で、練習の成果を出し切ろうと、一文字、一文字慎重に筆をおろす姿が見られ、本番に臨む意気込みを感じました。何事にも最後まで努力することは素晴らしいことです。

創立75周年記念式典

10月24日（木）に南稜中学校創立75周年記念式典が行われました。9月には、暑い中ですが全校生徒で人文字をつくり、記念の航空撮影が行われました。撮影する飛行機に向かって大きく手を振ったり、首にかけた色のついたエプロンを広げたりしながら、楽しそうに撮影される姿がたくさんありました。

記念式典では、記念品贈呈や記念講演として、武蔵精密工業株式会社の大塚様よりとてもためになるお話をいただきました。また、生徒会企画として、南稜クイズを全員が一生懸命取り組んでいたりと、全校アートを披露したりする場面もあり、とても盛り上がりながら記念式典を終えることができました。めぐり合わせとはいえ、75周年という節目に南稜中学校の生徒としていられたことに誇りをもって、今後の学校生活を送っていきましょう。



南稜祭

10月25日（金）に行われた南稜祭では、午前の部では合唱コンクール、午後の部では文化祭が行われました。合唱コンクールの練習では、実行委員や指揮者、伴奏者など、それぞれの立場で学級のために努力している姿や、学級を引っ張っていこうとがんばっている様子がたくさん見られました。また、それに応えようと学級全員が同じ目標に向かって真剣に練習している姿もうかがえました。本番では、今までの練習の成果を発揮しようと、緊張しながらも堂々とステージに立ち、最後まで思いを込めて歌うことができました。また、みんなが気持ちよく歌えるように、みんなの歌声をコントロールする指揮者、みんなの歌声を上手に曲にのせる伴奏者。どの学級も全てが一つになった合唱になったと思います。賞に入れた学級、入れなかった学級、結果はさまざまです。しかし、ここまでがんばってきたことは無駄にはなりません。最後までやり切ったこと、最後まで努力し続けたことは自信につながります。学級、学年全員で最高の合唱コンクールを創りあげることができたのは、一人一人の挑戦があり、一人一人の努力があったからです。

文化祭では、有志発表、吹奏楽部演奏、フィナーレ（RINK、ギネス、ダンス）など、さまざまな企画があり、会場を笑いと歓喜の渦に巻き込みながら、あっという間に時間が過ぎていきました。三年生がステージでおもしろおかしく立ち振る舞っている姿を見て、「みんなも三年生になったらできるのかな」と少し不安になりましたが、みなさんは「やるときはやれる学年」です。1年後、2年後を期待しています。

<合唱コンクール結果>

金賞 5組 『絆』	銀賞 2組 『輝くために』	銅賞 3組 『僕らの奇跡』
指揮者賞 3組 尾上裕愛	伴奏者賞 4組 小林礼奈	
色団賞 金賞 桃団（5組）	銀賞 オレンジ団（1組）	銅賞 青団（2組）